

<b>ASUS AI Suite II .....</b>	<b>2</b>
AI Suite II をインストールする.....	2
AI Suite を使う.....	2
<b>TurboV EVO.....</b>	<b>3</b>
TurboV .....	3
Auto Tuning.....	5
<b>New DIGI+ Power Control .....</b>	<b>7</b>
<b>EPU .....</b>	<b>9</b>
EPUを起動する.....	9
<b>FAN Xpert+.....</b>	<b>10</b>
FAN Xpert+ を起動する.....	10
FAN Xpert+ を使用する.....	10
ファンの設定 (プロファイル) .....	10
<b>Sensor Recorder .....</b>	<b>11</b>
Sensor Recorder を起動する .....	11
Sensor Recorderを使用する.....	11
History Recordを使用する.....	11
<b>Probe II .....</b>	<b>12</b>
Probe IIを起動する .....	12
Probe IIの設定.....	12
<b>BT GO! .....</b>	<b>13</b>
BT GO! を起動する.....	13
BT GO! を使用する.....	13
各機能 .....	13
<b>USB 3.0 Boost.....</b>	<b>14</b>
USB 3.0 Boost を起動する.....	14
USB 3.0 Boost を設定する.....	14
<b>ASUS SSD Caching .....</b>	<b>15</b>
ASUS SSD Caching を起動する.....	15
ASUS SSD Caching を設定する.....	15
<b>ASUS Update.....</b>	<b>16</b>
ASUS Update を起動する.....	16
ASUS Update を使用する.....	16
<b>MyLogo .....</b>	<b>17</b>
ASUS Update を起動する.....	17
MyLogoを使用する .....	17

# ASUS AI Suite II

ASUS AI Suite II では各種ASUSユーティリティを簡単に起動することができます。

## AI Suite II をインストールする

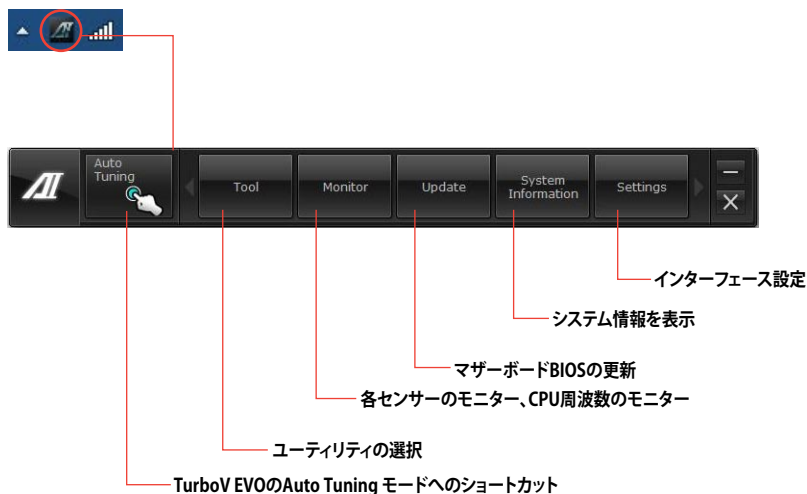
### 手順

1. サポートDVDを光学ドライブに挿入します。OSの自動再生機能(Autorun)が有効になっていれば、ドライバーメニューが表示されます。
2. 「Utilities」タブ→「AI Suite II」の順にクリックします。
3. 画面の指示に従ってAI Suite IIをインストールします。

## AI Suite を使う

AI Suite II はWindows®OSを起動すると自動的に起動し、AI Suite II アイコンがWindows® のタスクトレイに表示されます。このアイコンをクリックすると、AI Suite II メインメニューバーが表示されます。

使用するユーティリティのボタンをクリックし起動します。システムのモニタリング、マザーボードBIOSの更新、システム情報の表示、AI Suite II のカスタマイズ設定等がご利用いただけます。



- Auto Tuning ボタンはTurboV EVO機能搭載モデルにのみ表示されます。
- 利用できるアプリケーションはモデルにより異なります。
- 本マニュアルに記載の図は参考用です。モデルやソフトウェアのバージョンにより実際の画面とは異なる場合がございます。
- ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSのWebサイトをご参照ください(<http://www.asus.co.jp>)。

## TurboV EVO

ASUS TurboV EVOには、CPU周波数と関連する電圧値を調節できるTurboV機能、オーバークロックとシステムのレベルアップが自動的にできるAuto Tuning 機能が搭載されています。AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「TurboV EVO」の順にクリックし、TurboV EVOを起動します。



ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSのWebサイトを  
ご参照ください (<http://www.asus.co.jp>)。

## TurboV

TurboVは、BCLK周波数、CPU電圧、IMC電圧、DRAM Bus 電圧をWindows 環境で調整することが  
できるツールです。設定変更はすぐに適用されます。



CPU電圧の調節を行う前にCPUに付属の説明書や仕様書等を必ずご確認ください。設定値が  
高すぎるとCPUの損傷、低すぎるとシステム不安定の原因となることがあります。



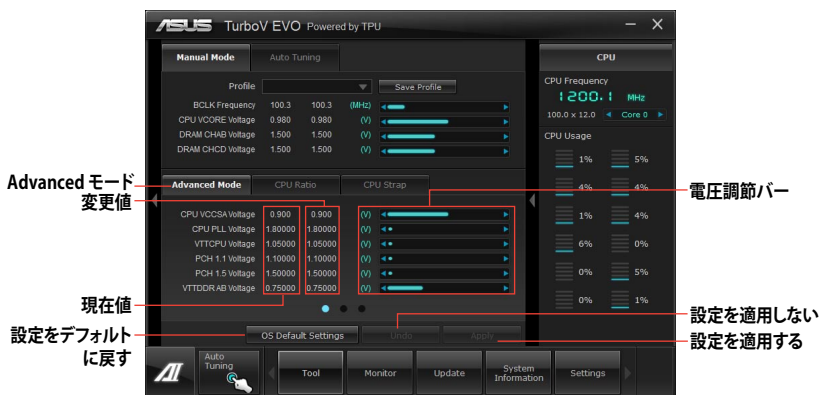
システム安定のため、ASUS TurboVで行った設定変更はBIOSには保存されず、次回起動する際  
にも適用されません。変更した設定を保存・使用するには、「Save Profile」  
機能で設定をプロファイルとして保存し、Windowsの起動後にそのプロファイルを手動で  
ロードしてください。

The screenshot shows the ASUS TurboV EVO software interface. The window title is "ASUS TurboV EVO Powered by TPU". The interface is divided into several sections:

- Manual Mode / Auto Tuning:** At the top, with a "Save Profile" button.
- Profile:** A table showing current and target values for BCLK Frequency, CPU VCore Voltage, DRAM CHAB Voltage, and DRAM CHCD Voltage. Annotations point to "モード選択" (Mode Selection) for the tabs, "プロファイルをロード" (Load Profile) for the dropdown, "変更値" (Change Value) for the target column, and "現在値" (Current Value) for the current column.
- Advanced Mode:** A table showing various voltage settings like CPU VCCSA Voltage, CPU PLL Voltage, VTTCPUB Voltage, PCH 1.1 Voltage, PCH 1.5 Voltage, and VTTDORAB Voltage. An annotation "設定を表示" (Show Settings) points to this section.
- CPU Ratio / CPU Strap:** Sliders for adjusting CPU ratio and strap.
- OS Default Settings:** A button to reset settings to default. An annotation "設定をデフォルトに戻す" (Reset settings to default) points to this button.
- Buttons:** "Auto Tuning", "Tool", "Monitor", "Update", "System Information", and "Settings". An annotation "設定を適用しない" (Do not apply settings) points to the "Auto Tuning" button, and "設定を適用する" (Apply settings) points to the "Tool" button.
- Right Panel:** Displays "CPU Frequency" (1200.1 MHz), "CPU Usage" (100.0 x 12.0), and "Core 0" usage. An annotation "現在の設定を新しいプロファイルとして保存" (Save current settings as a new profile) points to the "Save Profile" button, and "電圧調節バー" (Voltage adjustment bar) points to the sliders.

## Advanced モードを使用する

「Advanced Mode」タブをクリックし、電圧の設定を行います。



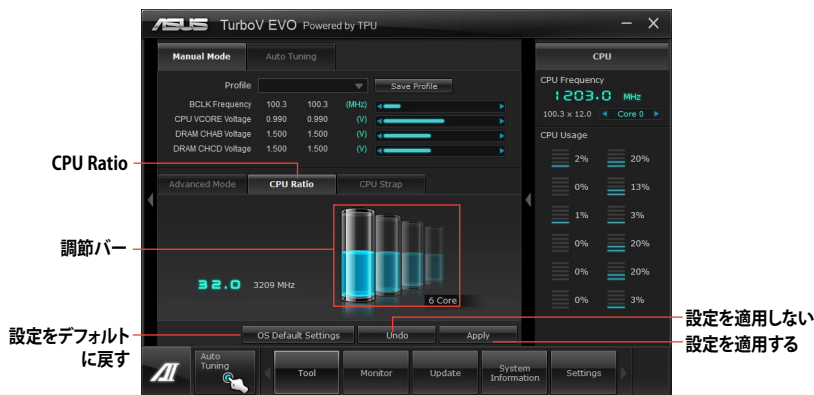
## CPU Ratio

手動でCPU動作倍率を調節します。



調節バーを上下に移動させ、数値を設定します。

1. 「CPU Ratio」タブをクリックします。
2. 調節バーを上下に移動させ、数値を設定します。
3. 設定の変更を適用するには、「適用」ボタンをクリックします。

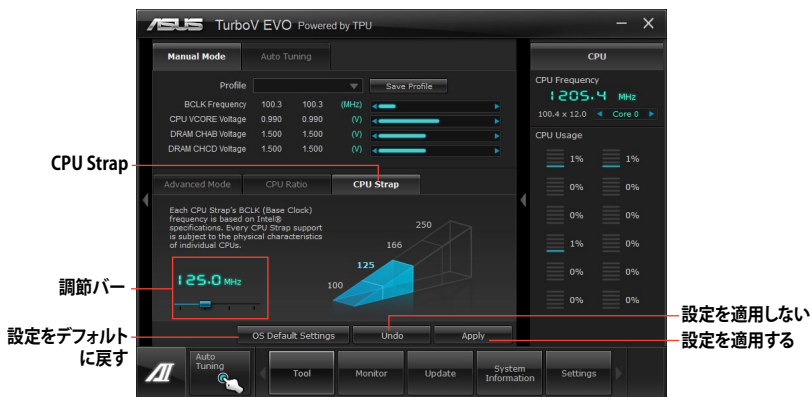


- TurboVのCPU Ratio 機能を使用する前に BIOS Setup プログラムで「CPU Ratio Setting」の項目を [Auto] にしてください。詳細はユーザーマニュアルのChapter 3 をご参照ください。
- CPU Ratio の調節バーにはCPUコアの状態が表示されますが、表示内容は取り付けられたCPUによって異なります。

## CPU Strap

手動でCPU Strapを調節します。

1. 「CPU Strap」タブをクリックします。
2. 調節バーをクリックし、任意の値を設定します。
3. 設定の変更を適用するには、「適用」ボタンをクリックします。



CPU Strap のサポートは、CPUの物理的特性に依存します。

## Auto Tuning

ASUS TurboV EVO には便利な 2 つの自動調節モードがあります。

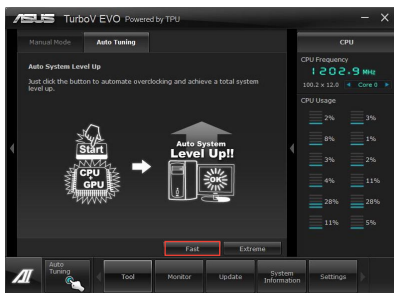


- オーバークロックの効果は、CPUモデルとシステム構成により異なります。
- オーバーヒートによるマザーボードの故障を防ぐため、冷却システムの増強を強くお勧めします。

- **Fast Tuning:** CPUをオーバークロック
- **Extreme Tuning:** CPUとメモリーをオーバークロック

### Fast Tuning

1. 「Auto Tuning」タブをクリックし、「Fast」をクリックします。
2. 警告メッセージを確認後、「OK」をクリックします。続いて自動オーバークロックが始まります。



3. CPUのオーバークロックが正常に終了すると、システム再起動時に設定はBIOSへと反映されます。システム再起動後、作業完了のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしAuto Tuning を完了します。



### Extreme Tuning

1. 「Auto Tuning」タブをクリックし、「Extreme」をクリックします。
2. 警告メッセージを確認後、「OK」をクリックします。続いて自動オーバークロックが始まります。



3. TurboVは自動的にCPUとメモリーをオーバークロックし、システムを再起動します。Windows が起動すると、現在のオーバークロックの結果が表示されます。この結果をキープするには「Stop」をクリックします。



4. 「Stop」を選択しなかった場合、TurboVは自動的に更なるシステムオーバークロック設定と安定性のテストを実行し、オーバークロックの経過を示す画面が表示されます。オーバークロック作業をキャンセルするには、「Stop」をクリックします。



5. CPUとメモリーのオーバークロックが正常に終了すると、システム再起動時に設定はBIOSへと反映されます。システム再起動後、作業完了のメッセージが表示されます。「OK」をクリックしAuto Tuning を完了します。



# New DIGI+ Power Control

新しいDIGI+ PowerControlは、VRM電圧とCPUの周波数を調節し安定性を強化します。また、非常に優れた電力効率を実現し発生する熱を最小限に抑えますので、コンポーネントの寿命を延ばし電力消費を抑えます。

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「DIGI+ Power Control」の順にクリックし、DIGI+ Power Controlを起動します。

CPU Power または DRAM Power を選択し、電源管理を調節します。

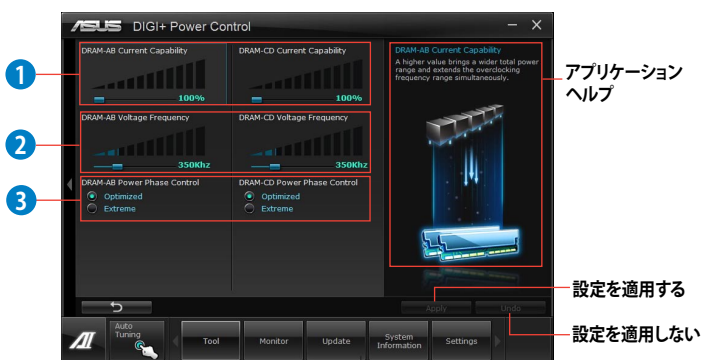


機能No.	説明
1	<b>CPU Load-line Calibration</b> CPUへの供給電圧を調節しシステム温度をコントロールします。高い値を設定することにより、電圧の降下を防ぎオーバークロックの範囲を広げることができます。ただし、CPUとVRMからの発熱量は増加します。
2	<b>CPU Current Capability</b> オーバークロック用にCPUへの電力供給量を設定します。高い値を設定することにより、VRMの消費電力は増加します。
3	<b>CPU Voltage Frequency</b> スイッチング周波数はVRMの過渡応答と各部コンポーネントの温度に影響します。周波数を高く設定することで、電圧の変動を抑え高速過渡応答を得ることができます。ただし、発熱量は増加します。
4	<b>VCCSA Load-line Calibration</b> VCCSAへの供給電圧を調整します。VCCSAはシステムエージェント（メモリーコントローラーやPCI ExpressなどのI/Oを含む部分）の動作に影響します。高い値を設定することによりシステムパフォーマンスが向上し、低い値に設定することにより発生熱量は低下します。
5	<b>VCCSA Current Capability</b> オーバークロック用にVCCSAへの電力供給量を設定します。高い値を設定することによりメモリーコントローラーへ電力供給量を増やすと同時に、オーバークロックの周波数範囲を拡張します。

## 機能No. 説明(続き)

6	<b>CPU Power Phase Control</b> 動作中のCPU用VRM回路(フェーズ)の制御方法を設定します。システム負荷の高い状態で稼働フェーズ数を増やすことにより、高速過渡応答と高い伝熱性能を得ることができます。システム負荷の低い状態で稼働フェーズ数を減らすことにより、VRMの変換効率が向上し発熱を抑えることができます。
7	<b>CPU Power Duty Control</b> VRMのフェーズ毎の制御方法を設定します。温度または電流、どちらを重視して制御を行うかを選択します。電流を重視することにより、オーバークロック時に安定した動作を得ることができます。

## DRAM Power



## 機能No. 説明

1	<b>DRAM Current Capability</b> オーバークロック用にDRAMへの電力供給量を設定します。
2	<b>DRAM Voltage Frequency</b> オーバークロック範囲の拡大やシステムの安定性を高めるためにDRAMスイッチング周波数を調整します。
3	<b>DRAM Power Phase Control</b> 動作中のメモリー用VRM回路(フェーズ)の制御方法を設定します。 [Extreme]は全てのフェーズを稼働することによってシステムパフォーマンスが向上し、[Optimized]はASUSが最適化したフェーズ調整プロファイルによってVRMの変換効率を向上します。



- 実際のパフォーマンスはお使いの取り付けられたCPUにより異なります。
- サーマルモジュールやサーマルセンサーを取り外さないでください。正常に動作するためには各所の温度状態を常にモニタリングする必要があります。



## EPU

EPUは電力管理をアシストするツールで、システムの多様な電力要求に応えます。このユーティリティには複数のモードがあり、システム電源を抑えることができます。「Auto」を選択するとシステムの状態に応じて動作モードを自動的に選択します。また、各モードは詳細設定も可能で、CPU周波数やGPU周波数、vCore 電圧、ファンコントロール等の設定が可能です。

### EPUを起動する

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「EPU」の順にクリックします。



- \* 「From EPU Installation」を選択すると、EPUをインストールした時点からのCO2削減量が表示されます。
- \* 「From the Last Reset」を選択すると、前回「Clear」ボタンを押した時点からのCO2削減量が表示されます。
- ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSのWebサイトをご参照ください (<http://www.asus.co.jp>)。

## FAN Xpert+

ASUS Fan Xpert+ は、システムの負荷と環境温度に応じて、効果的にCPUファンとケースファンのスピードを調節することができます。予め準備されたプロファイルから設定を選択することにより、ファン速度を臨機応変にコントロールすることもできます。

### FAN Xpert+ を起動する

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「FAN Xpert+」の順にクリックし、FAN Xpert+を起動します。

### FAN Xpert+ を使用する

「Fan Name」の項目でファンを選択し、「Setting」の項目で予め設定されたモードを選択します。



### ファンの設定(プロファイル)

- **Disable:** FAN Xpert+ 機能を無効にします。
- **Standard:** 適度にファン速度を自動調節します。
- **Silent:** ファン速度を最低限に抑え、ノイズの低減を優先させます。
- **Turbo:** ファン速度を最大にし、冷却性能を優先させます。
- **Intelligent:** CPUファン速度を環境温度に応じて自動調整します。
- **Stable:** CPUファン速度を一定に保ち、スピードの切り替えによるノイズを抑えます。  
ただし、温度が70°Cを超えた場合は、ファン速度を自動的に調節します。
- **User:** ユーザープロファイルを定義します。



ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSのWebサイトをご参照ください (<http://www.asus.co.jp>)。

## Sensor Recorder

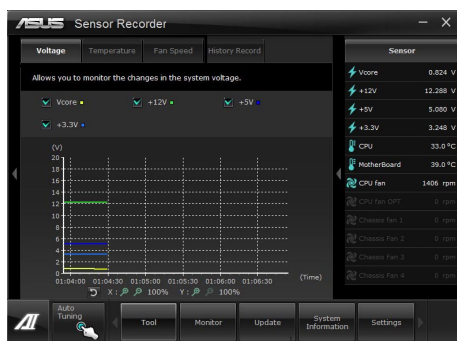
Sensor Recorder は、システムの電圧、温度、ファン回転速度を時系列グラフで表示します。History Record 機能は、システムの電圧、温度、ファン回転速度を指定された時間、一定間隔で記録をすることができます。

### Sensor Recorder を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「Sensor Recorder」の順にクリックします。

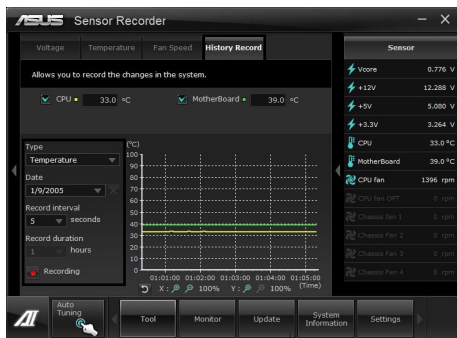
### Sensor Recorder を使用する

「Voltage/ Temperature/ Fan Speed」タブでモニタリングしたい項目をクリックします。グラフは一定間隔で更新されます。また、グラフの表示・非表示をチェックボックスで選択することが可能です。



### History Recordを使用する

1. 「History Record」タブをクリックします。必要に応じて「Record Interval」や「Record duration」を設定します。
2. 「Start recording」をクリックし、各センサーの測定と記録を開始します。
3. 記録を中断する場合は、「Recording」をクリックします。
4. 記録した履歴を表示するには、Date/Type/各センサーを選択します。



## Probe II

PC Probe II は、重要なコンピュータのコンポーネントを監視し、問題が検出されると警告するユーティリティです。ファン回転数、CPU温度、システム電圧を中心に監視します。このユーティリティで、コンピュータをいつでも正常に動作させることができます。

### Probe IIを起動する

サポートDVDからAI Suite IIをインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「Probe II」の順にクリックします。

### Probe IIの設定

Voltage/Temperature/Fan Speedタブのいずれかをクリックし、センサーを有効にして、センサーのしきい値を設定します。「Preference」タブではセンサーの検出間隔や温度の単位 (摂氏・華氏) を設定することができます。

The screenshot shows the ASUS Probe II application window. It has a dark theme and several tabs: Voltage, Temperature, Fan Speed, Preference, and Alert Log. The 'Voltage' tab is active, displaying a table of voltage sensors and their thresholds. To the right, a 'Sensor' panel lists various system components and their current values. At the bottom, there are buttons for 'Auto Tuning', 'Tool', 'Monitor', 'Update', 'System Information', and 'Settings'. Red lines with text labels point to specific elements:

- 設定を保存** (Save settings) points to the 'Auto Tuning' button.
- 保存した設定をロード** (Load saved settings) points to the 'Tool' button.
- 各センサーのデフォルトのしきい値をロード** (Load default threshold values for each sensor) points to the 'Monitor' button.
- 変更を適用** (Apply changes) points to the 'Update' button.

Alert	Sensor	Current	Threshold
<input checked="" type="checkbox"/>	Vcore	0.784 V	0.200   1.551
<input checked="" type="checkbox"/>	+12V	12.288 V	10.200   13.801
<input checked="" type="checkbox"/>	+5V	5.040 V	4.500   5.501
<input checked="" type="checkbox"/>	+3.3V	3.264 V	2.970   3.631

Sensor	Value
Vcore	0.784 V
+12V	12.288 V
+5V	5.040 V
+3.3V	3.264 V
CPU	33.0 °C
MotherBoard	35.0 °C
CPU fan	1387 rpm
CPU fan GFT	0 rpm
Chassis fan 1	0 rpm
Chassis fan 2	0 rpm
Chassis fan 3	0 rpm
Chassis fan 4	0 rpm



ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSのWebサイトをご参照ください (<http://www.asus.co.jp>)。

## BT GO!

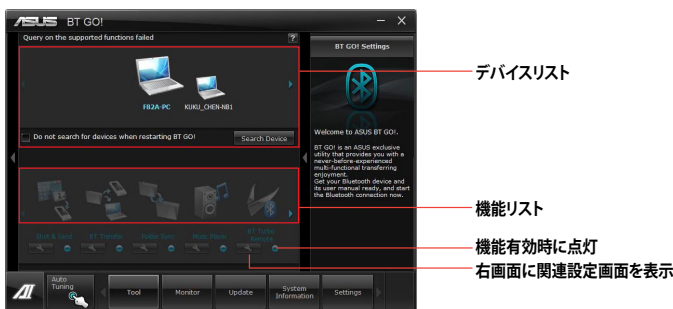
ASUS BT GO! は、7つの特別な機能をもったユーティリティです。このユーティリティにより、簡単にPCとモバイルデバイス間でデータを同期することができます。また、PC上の音楽などを遠隔操作するリモコンとしても使用することができます。

オンボードBluetooth v3.0+HSモジュール/Bluetoothモジュールは、追加アダプターなしでBluetoothデバイスとのスマートな接続を可能にします。

### BT GO! を起動する

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「BT GO!」の順にクリックし、BT GO! を起動します。

### BT GO! を使用する



- と■をクリックし、デバイスリストと機能リストをスクロールします。
- 任意のデバイスアイコンをクリックし、BTデバイスに選択します。BT GO! は選択したデバイスのサポートする機能を自動的に検索します。
- 任意のデバイスアイコン/機能アイコンをクリックし、選択したデバイスを接続し、選択した機能の有効/無効を設定します。

### 各機能

**Shot & Send:** ホストコンピューターの画面をキャプチャーし、接続したBTデバイスに転送します。

**BT Transfer:** ホストBTデバイスに保存したファイルを接続した別のBTデバイスと共有します。

**Folder Sync:** 選択したフォルダーをBTデバイスとコンピューターとの間で同期します。

**Personal Manager:** 連絡先とカレンダーをBTデバイスとコンピューターの間で同期します。

**BT to Net:** BTデバイスのネットワークを共有し、BTデバイスのネットワークでインターネットに接続します。

**Music Player:** BTデバイス内の音楽ファイルをコンピューターのスピーカーで再生します。

**BT Turbo Remote:** BT接続したスマートフォンをリモコンとして使用し、システムのオーバークロック設定/モニタリングやシステム電源スイッチなどを遠隔操作します。また、メディアプレイヤーのリモコンとして使用することもできます。



- ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSのWebサイトをご参照ください (<http://www.asus.co.jp>)。
- 「Bluetooth」及びそのマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有しており、ASUSTek Computer Inc.はそれらを使用するライセンスを取得しています。その他の商標や商標名は各ライセンス所有者に属します。

## USB 3.0 Boost

ASUS USB 3.0 Boost は、オンボードのUSB 3.0ポートに接続されたUSB3.0デバイスの高速なデータ転送を実現します。また、最新のUASP (USB Attached SCSI Protocol)をサポートします。USB 3.0 Boosts によって、簡単にUSB 3.0 デバイスの転送速度を向上させることができます。

### USB 3.0 Boost を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Tool」→「USB 3.0 Boost」の順にクリックし、USB 3.0 Boost を起動します。

### USB 3.0 Boost を設定する

1. USB 3.0 デバイスをUSB 3.0 ポートに接続します。
2. USB 3.0 Boost は自動的に接続されたデバイスのプロパティを検出し、TurboモードとUASPモードを切り替えます。UASPモードはUASP対応デバイスを接続した場合にのみ選択されます。
3. 動作モードは手動でNormalモードに切り替えることが可能です。



ソフトウェアの詳細は、サポートDVDに収録のユーザーマニュアル、またはASUSのWebサイトをご参照ください (<http://www.asus.co.jp>)。

## ASUS SSD Caching

ASUS SSD Caching は、ワンクリックでハードディスクの大容量を維持しつつ、SSDに近いパフォーマンスと高速なレスポンスを実現します。機能を有効にする際にシステムを再起動する必要はありません。

### ASUS SSD Caching を起動する

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「**Tool**」→「**ASUS SSD Caching**」の順にクリックし、ASUS SSD Caching を起動します。

### ASUS SSD Caching を設定する

1. Marvell® SATA ポート (SATA6G\_E1/E2) に HDD と SSD を1つずつ取り付けシステムを起動します。ASUS SSD Caching を起動すると接続されたHDDとSSDが自動的に検出されます。
2. 「**Caching Now!**」をクリックし、接続されたドライブの初期化を開始します。初期化の進捗状況はプログラムのインターフェース上に表示されます。
3. 初期化が完了すると、Caching 機能が有効になります。
4. ASUS SSD Caching 機能を無効にする場合は、「**Disable**」をクリックします。



- 初期化作業中、システムは通常どおり操作を行うことができます。初期化完了の通知はプログラムのインターフェース、またはポップアップメッセージで確認することが可能です。
- 通常使用の際、SATA6G\_E1/E2ポートにはデータドライブを接続することを推奨いたします。
- ASUS SSD Caching を無効にすると、ASUS SSD Caching で使用されていたSSDは未割り当て状態となります。SSDを再度使用する場合は、OSの管理ツールで該当するSSDに領域を割り当て、フォーマットを実行してください。

# ASUS Update

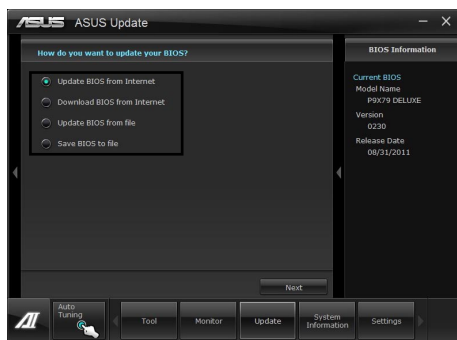
ASUS Update はWindows OS上でシステムのBIOSアップデートを簡単に行うことができるユーティリティです。また、インターネット接続によって最新のBIOSバージョンを直接ダウンロードしたり、現在のシステムBIOSをファイルとして保存することも可能です。

## ASUS Update を起動する

サポートDVDからAI Suite II をインストールし、AI Suite II メインメニューバーから「Update」→「ASUS Update」の順にクリックします。

## ASUS Update を使用する

実行する動作選択して「Next」をクリックし、表示される指示に従いBIOSの操作を実行します。



- **BIOSをインターネットから更新**  
ASUS専用サーバーからBIOSファイルをダウンロードし、システムのBIOSアップデートを実行します。
- **BIOSをインターネットからダウンロード**  
ASUS専用サーバーからBIOSファイルをダウンロードし、BIOSファイルをコンピューターに保存します。システムのBIOSのアップデートは行われません。
- **ファイルからBIOSを更新**  
指定されたBIOSファイルを使用して、BIOSのアップデートを実行します。
- **BIOSをファイルに保存**  
現在のシステムBIOSをコンピューターにファイルとして保存します。



BIOS更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。BIOSが破損、損傷しシステムを起動することができなくなるおそれがあります。BIOSのアップデートを行う前に、念のため現在のシステムBIOSのバックアップを実施することを推奨いたします。BIOSアップデートに伴う不具合、動作不良、破損等に関しましては保証の対象外となります。予めご了承ください。

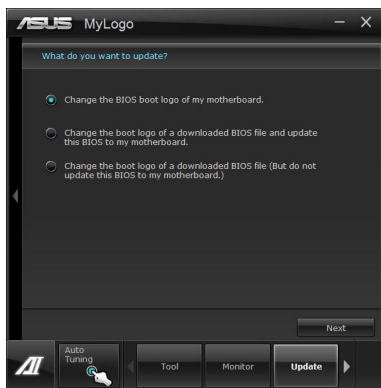


## MyLogo

MyLogo はBIOSの起動画面（ブートロゴ）を変更することのできるユーティリティです。POST（Power-On-Self-Test）時に表示される画面をカスタマイズし、お気に入りの画像に変更することが可能です。

### ASUS Update を起動する

AI Suite II をサポートDVDからインストールした後、AI Suite II メインメニューバーから「**Tool**」→「**MyLogo**」の順にクリックし、MyLogo を起動します。

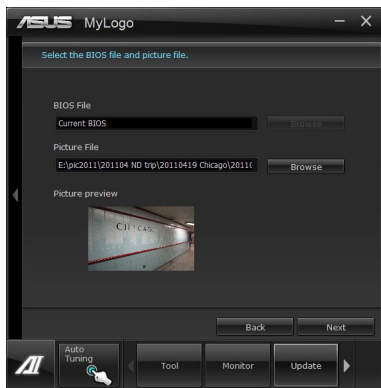


### MyLogoを使用する

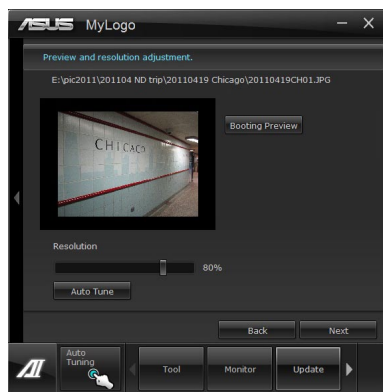
ブートロゴの変更方法を選択し、「**Next**」をクリックします。

#### 現在のマザーボードBIOSのブートロゴを変更

1. 「**Browse**」をクリックして使用する画像ファイルを選択し、「**Next**」をクリックします。

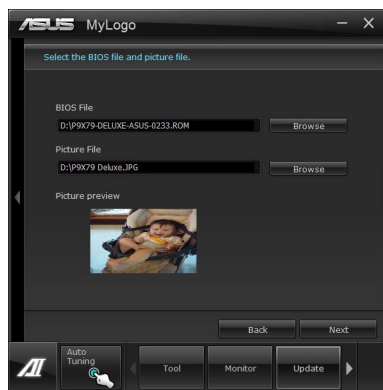


2. 「**Auto Tune**」をクリックし画像を自動調整するか、調整バーをドラッグして解像度を調節します。
3. 「**Booting Preview**」をクリックすると、ブートロゴのプレビューを表示する事ができます。プレビュー画面に問題がなければ「**Next**」をクリックします。
4. 「**Flash**」をクリックすると、BIOSのブートロゴの更新が開始されます。
5. 「**Yes**」をクリックし、システムを再起動します。システム再起動時に起動ロゴが正常に変更されていることを確認します。



### ディスクに保存されたBIOSファイルのブートロゴを変更

1. BIOS Fileの「**Browse**」をクリックし、ご使用のマザーボード用のBIOSファイルを選択します。
2. Picture Fileの「**Browse**」をクリックし、使用する画像ファイルを選択して「**Next**」をクリックします。
3. 以降は「現在のマザーボードBIOSのブートロゴを変更」手順2～5と同じです。



フルスクリーンロゴの表示はBIOS設定に準じます。